

要請番号 (JL21521A02)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
コスタリカ	G102 環境教育		個別	交替 2代目	2年	・ 2022/1 ・ 2022/2 ・ 2022/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

経済企画省

2) 配属機関名（日本語）

オロティナ市役所

3) 任地（アラフエラ県オロティナ市） JICA事務所の所在地（サンホセ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 2.5 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

オロティナ市はコスタリカ中部に位置する人口約19,000人の都市である。フルーツの町として知られ、マンゴ、アボカド、メロン、オレンジなどの栽培が盛んである。また首都国際空港の移転先の候補地となっており、今後の発展が期待されている。

オロティナ市役所は地方道路の修繕、市営市場の運営、ゴミ回収、公園・墓地の整備などの公共サービスを実施しており、年間予算は854万米ドル。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

コスタリカにおいて2010年に廃棄物処理法(法8829)が制定され、廃棄物の回収、リサイクルの促進が各自治体に義務付けられた。またその数値目標が定められ、現在各自治体がその実現に取り組んでいる。また2030年代にオロティナへの国際空港移転が計画されていることから、人の往来増加に対応する体制の強化が求められている。

固形廃棄物処理の適正化について、コスタリカ国内の複数の自治体でJICA海外協力隊が活動成果をあげていることを知り、隊員の要請に至った。2019年12月に前任隊員が着任したが、コロナ禍のため、本格的に活動をしようという時に一時帰国となった。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

現在期待される活動は以下の通り。

- オロティナ市における廃棄物処理の現状を調査し、市役所、地域住民と共有する。
- 調査結果をもとに廃棄物処理の適正化の提案を行う。(小規模なコンポストセンターと種苗施設の運営を含む)
- 廃棄物処理の適正化を進めるために市役所職員、住民、学校などでの環境教育の実施。(前任の隊員のパイロットプランあり)
- 効果的な環境教育のための各種キャンペーンの実施。
- 市内の河川の清掃と保護のための活動

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

市役所内執務室。

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

カウンターパート:環境課職員 男性 50代

小さな市役所のため市長も適宜対応

活動対象者:
オロディナ市中心部住民 9000人

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スペイン語	スペイン語	

【資格条件等】

[免許]：（ ）	[学歴]：（高等専門学校卒）環境科学 備考：カウンターパートとのバランス
[性別]：（ ） 備考：	[経験]：（実務経験）2年以上 備考：即戦力が期待されている

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖湿潤気候） 気温：（10～30℃位）	[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可 電話可）	[水道]：（安定）

【特記事項】

- ・コンポストについては、技術保管研修があり、コスタリカの他の隊員の事例からも参考情報が得られるため、事前経験は不要。
- ・住居は原則ホームステイとする。